

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 工業都市として更なる発展を

直近の「やまぐち経済月報」の別表によると、工業統計（2014年）の上で、本市は工業都市として更なる発展が期待できそうです。

事業所数こそ県下13市中9位ですが、出荷額等では本市は3位で、周南市が約1兆3,000億円、防府市が約1兆1,000億円、そして本市が約9,000億円。ちなみに4位は下関市（約5,500億円）、5位が宇部市（約4,900億円）と続きます。

年度別の法人市民税の調定額を対比しても、景気は回復基調にあるといえそうです。早くデフレからの脱却へと、期待は高まるばかりです。

■ 住みよさランキングが やや回復しました

ある全国規模の経済誌が1993年から全国の都市（市）の住みよさランキングを公表しています。各市の持っている「都市力」をどのような観点で分類し、どのような指標を採用するか、すなわち算出方法いかんで住みよさランキングも大きく変わりますが、全国紙の住みよさランキングでは、本市はこのたび全国813都市（全国790市と東京23区）で109位、県内では下松市、柳井市に次いで3位、中国地方でも倉吉市、大竹市が3、4位を占め、本市は5位でした。

分析と研究を深め、市民の協力を生かしつつ、その成果を次の第二次総合計画に生かし、平成30年度からの12年間には、何とか100位以内に落ち着きたいものです。

■ 建設ラッシュ

7月の臨時議会で埴生の公共施設の移築が認められ、おかげさまで本市は建設ラッシュを迎えました。市役所の担当課も悲鳴を上げています。

学校給食センター、火葬場、埴生小学校・埴生公共施設、公立大学となった山口東京理科大学の薬学部校舎等々。合併特例債の使用可能期限（平成31年度）が迫り、それまでに何とか完成したいものばかりです。

また、県立おのだサッカー交流公園にクラブハウスの新設も決まりました。

その他、子育て総合支援センターや厚狭駅南部地区の再開発、その他いくつかの課題は、まちづくりの第2ステージに持ち越しとなりそうです。

